

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和4年10月13日(2022.10.13)

【公開番号】特開2022-119899(P2022-119899A)

【公開日】令和4年8月17日(2022.8.17)

【年通号数】公開公報(特許)2022-150

【出願番号】特願2022-85941(P2022-85941)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/13(2006.01)

10

C 0 7 K 16/40(2006.01)

C 1 2 N 15/63(2006.01)

C 1 2 N 1/15(2006.01)

C 1 2 N 1/19(2006.01)

C 1 2 N 1/21(2006.01)

C 1 2 N 5/10(2006.01)

C 1 2 P 21/02(2006.01)

C 1 2 P 21/08(2006.01)

C 1 2 N 9/14(2006.01)

A 6 1 K 39/395(2006.01)

20

A 6 1 P 19/02(2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/13

C 0 7 K 16/40 Z N A

C 1 2 N 15/63 Z

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 P 21/02 C

30

C 1 2 P 21/08

C 1 2 N 9/14

A 6 1 K 39/395 P

A 6 1 P 19/02

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月3日(2022.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

PAD2 (Peptidylarginine deiminase 2) の341～357位、又は配列番号1で示されるアミノ酸配列からなるペプチド、に特異的に結合する、抗体であり、配列番号4～8で示されるアミノ酸配列のペプチドの1種以上に対して特異的な結合性を有さない、抗PAD2抗体。

【請求項2】

配列番号1で示されるアミノ酸配列からなるペプチドに特異的に結合する抗体である、

50

請求項1に記載の抗PAD2抗体。

【請求項3】

PAD2の344～357位に特異的に結合する抗体である、請求項1又は2に記載の抗PAD2抗体。

【請求項4】

PAD2のシトルリン化活性を阻害する、請求項1～3いずれかに記載の抗PAD2抗体。

【請求項5】

PAD2に対するKD(M)が 9.0×10^{-8} 以下である、請求項1～4いずれかに記載の抗PAD2抗体。

【請求項6】

モノクローナル抗体である、請求項1～5いずれかに記載の抗PAD2抗体。

【請求項7】

抗原結合性断片である、請求項1～6いずれかに記載の抗PAD2抗体。

【請求項8】

請求項1～7いずれかに記載の抗PAD2抗体を含む、組成物。

10

20

30

40

50